

平成 30 年度 事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

I 法人の概況

1. 設立年月日 平成 21 年 6 月 1 日

2. 定款に定める目的

本社団法人は、文化財保護に携わる民間調査組織として必要な技術の研鑽、向上を図り、もってわが国文化芸術の振興に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- 1) 文化財保護に関する知識の教授
- 2) 文化財保護に関する技術力向上のための研修会・講習会の開催
- 3) 発掘調査技術者の資格検定試験の実施および資格の認定
- 4) 文化財保護に関するセミナーの企画・運営又は開催
- 5) 文化財保護にかかる図書および記録の閲覧、書籍の制作、電子出版物の提供
- 6) 文化財保護に関する国内外の団体等との連絡協調
- 7) 講習テキスト、試験問題集、会員名簿ほか図書の出版販売
- 8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 平成 31 年 3 月 31 日現在の会員数

種類	当期末	前期末比増減
普通会員	83 社	+2 社
賛助会員	6 社	±0 社
合計	89 社	+2 社

6. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区日本橋富沢町 10-13-301

7. 平成 31 年 3 月 31 日現在の役員

役職	氏名	現職
理事長	長谷川 渉	(株)武蔵文化財研究所 代表取締役
副理事長	安住 修二	(株)パスコ 常任顧問
	橋本 真紀夫	パリノ・サーヴェイ(株) 取締役調査研究部長
	西城 修	国際航業(株)
常務理事	川谷 昭彦	(株)埋蔵文化財サポートシステム 相談役
	黒木 隆史	日本海航測(株) 代表取締役社長
	武 賢治	国際文化財(株) 取締役
理事	河合 英夫	(株)玉川文化財研究所 専務取締役
	河野 一也	関東文化財振興会(株) 埋蔵文化財調査部長
	清水 章弘	安西工業(株) 代表取締役社長

	平井 貢	(株)シン技術コンサル 常務取締役
	森 允	(株)イビソク 専務取締役
	山口 寛	ナカシャクリエイト(株) 代表取締役社長
監事	島津義昭	(株)九州文化財研究所 特別相談役

8.平成 31 年 3 月 31 日現在の職員

職員数 2 名（常勤 2 名、うち 1 名は出向者）

II 事業の概要

1.事業の実施状況

平成 30 年度の事業計画書に基づき以下の事業を実施いたしました。

1) 復興支援対策本部（武 賢治 復興支援対策支部長）

前期に引き続き震災の被災地の自立を目指す一助となるよう、官民連携し発掘調査の支援を通じて東日本大震災の復興に取り組み、岩手県釜石市と 8 月 10 日付で契約締結した発掘調査報告書作成業務 2 件の作業を遂行しました。

2) 事業委員会（安住修二 事業委員長）

9 月に山崎秀保文化庁文化財部長と面談を行い資格制度案の提出を、12 月に千葉県へ要望書の提出を、1 月に村田善則文化庁次長と面談を行い災害協定案の提出を、2 月に文部科学省において柴山昌彦文部科学大臣と面談を行い、要望書の提出を行いました。

会員獲得のため民間調査組織への協会加入の案内を積極的に行い今年度 3 社の加入がありました。

3) 連絡協議会（安住修二 事業委員長）

前期の九州地区連絡協議会に続き、今期新たに中部地区連絡協議会設立の準備会を開催し、会員会社との意見交換を行いました。

4) 総務委員会・調査士会準備室（長井正欣 総務委員長）

埋蔵文化財調査士の資格認定試験を 9 月 1 日联合会館（東京）で実施し、行政経験者 4 名、埋蔵文化財調査士補からの受験者 15 名が合格いたしました。埋蔵文化財調査士補の指定講習会は 7 月 20～22 日の 3 日間で全 10 講座の講習会を行い、8 月 25 日東京都生協連会館（東京）で資格認定試験を実施し、受験者 32 名全員合格いたしました。

CPD 委員会は 5 月と 11 月に埋蔵文化財調査士・士補から申請された CPD のポイント集計と認定作業を行いました。5 月集計では 142 名（調査士 89 名、調査士補 53 名）から 439 件の申請がありました。11 月集計では 151 名（調査士 107 名、調査士補 44 名）から 558 件の申請がありました。

CPD 委員会では埋蔵文化財調査士・士補は資格取得後 5 年ごとの資格更新手続を行うため、資格更新条件となる CPD ポイントの取得がスムーズに行われるよう CPD 管理システムの整備に取り組んでおり、来期より本格稼働する予定です。

5) 考古検定検討委員会（長谷川渉 考古検定検討委員長）

11 月 17～25 日の期間で第 10 回考古検定の入門・初級・中級・上級・最上級クラスでの試験を実施しました。今期は第 10 回記念として入門クラスの受験料を見直した結果、前期を上回る事が出来ましたが、全クラスでは受験者増には至りませんでした。今後も継続して受験、勉強を行えるよう今後も受験者からのアンケートや要望を精査し受験者の満足度の高い

検定試験となるよう取り組んでおります。

6) 編集委員会 (橋本真紀夫 編集委員長)

考古学専門誌での埋蔵文化財に関する特集号において観光と考古学をテーマに企画・編集を行いました。

7) 技術研修委員会 (河野一也 技術研修委員長)

会員会社の考古学の基礎的な技術や方法論に基づいた、調査から報告書の内容を含めて調査力の向上や質の確保を図るため、会員会社が作成した調査報告書を審査して優秀なものを顕彰する表彰制度を設けています。第6回優秀調査報告書審査会を開催し、10社の報告書が優秀調査報告書に選定されました。5月11日の表彰式で受賞者に賞状を授与いたしました。

今期の技術研修会では、遺跡から出土する木製品や金属製品等の取り扱いに着目し、保存科学の研究者を招き、即戦力として役立つ、最新の研究成果について7月29日に日本橋社会教育会館(東京)で68名参加、11月3日に奈良商工会議所(奈良)で24名参加による研修会を開催し、当期は新たに九州地区においても、九州の地質と人骨の取扱いについて、2月23日に福岡商工会議所(福岡)で28名参加による研修会を含めて3回開催しました。

近年文化財の分野で広く活用されるようになってきた3D計測技術について、10月21日に横浜市立歴史博物館と、2月23日に大阪府立弥生文化博物館と共同・共催にて研修会を開催しました。

今後も他団体との協働を行いながら、資格者の調査力向上に努めてまいります。

8) 広報委員会 (山口 寛 広報委員長)

平成30年度埋蔵文化財調査要覧の企画・編集を行い8月に発行、毎年協会の活動報告を行っている会報誌「飛天」に会員会社の調査紹介等の「紀要」第2号を合本し8月に発行いたしました。

一般の親子向け料理ワークショップを6月25日に北区の小学校で開催し、土器の観察や拓本取りや縄文原体を作成しクッキー生地を土器の生地に見立て文様を付けた土器型クッキー(ドッキー)の製作実習を行いました。

9) 文化庁記念物課より「熊本地震被災 国史跡井寺古墳保護修復方法の検討・提案」について相談を受け、協会として井寺古墳の現地調査を踏まえた調査手法等の検討を行い、提案書・現地調査資料等を提出し、調査に協力しました。

2. 当期の重要な契約

- 1) 協会ホームページリニューアル ステラグループ株式会社 773,280円
- 2) CPDシステム開発 株式会社シェルストリーム 124,200円

3. 平成30年度会議等一覧

4月	13日	理事会
	20日	九州地区連絡協議会準備会
5月	11日	定時社員総会・理事会

	20日	CPD委員会
	22日	復興支援対策本部会議
6月	7日	編集委員会
	25日	ドッキーワークショップ（東京都・北区）
	26日	編集委員会（座談会）
7月	2日	試験管理委員会（第三者委員会）
	10日	常務理事会
	20～22日	埋蔵文化財調査士補講習会
	29日	技術研修会（東京）
8月	1日	臨時常務理事会
	23日	理事会（書面）
	25日	埋蔵文化財調査士補筆記試験
	31日	常務理事会、北海道・東北地区懇談会
9月	1日	埋蔵文化財調査士筆記・面接試験、 試験管理委員会（合否判定会議・第三者委員会）
	7日	復興対策支援本部会議
	21日	常務理事会
10月	2日	復興対策支援本部会議
	16日	考古検定検討委員会
11月	3日	技術研修会（奈良）、総務委員会
	11日	CPD委員会
	16日	常務理事会、関東地区懇談会
12月	7日	理事会
	18日	考古検定委員会（合否判定会議・第三者委員会）
1月	29日	中部地区連絡講義会準備会
2月	15日	考古検定検討委員会、常務理事会
	19日	文部科学大臣へ要望書提出
	23日	技術研修会（福岡）
3月	7日	臨時常務理事会
	25日	試験管理委員会（第三者委員会）
	26日	理事会（書面）

以上